

(法第28条第1項関係「前事業年度の事業報告書」)

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会

1 事業の成果

事業別の主な実績は以下のとおりである。

なお、認定 NPO 法人の申請については、年度内取得を目指して準備をしてきたが認定要件不備のため、2015/3/10 に臨時総会を開催し定款を改定（理事会・総会の招集方法・委任方法に書面によるほかに FAX 等の使用を可とする）し、翌 3/11 に定款変更の認証申請を行った。

(1)総合的運用事業

- 利用者からの観測期間延長の要請を受け、出来るだけ長期間の夏期観測を実現すべく測候所開所時期を早期化し諸準備を進めた。山頂は例年にない積雪量であったが、山頂班等の協力を得て 7/1 に開所、8/29 閉所まで 60 日間延べ 434 名が参加して無事故で実施した。
-
- 消費税率引き上げに合わせ富士山測候所利用料を見直し、①従量比率を高める（基本料金の引き下げと従量料金の引き上げ）ことにより少人数グループの利用促進をはかる②会員区分に学生会員を新設し学生が参加しやすい料金にする—などの改定を 7/1 より実施した。①少人数グループの参加障壁が下がり②学生会員の new に伴う割引料金の適用により、学生が利用しやすい環境が整った。
- 富士山頂の無線環境は利用グループの KDDI 殿のご好意によりサービスを利用させていただいた結果、研究環境の改善がはかられた。山麓太郎坊については次年度に向けての測量等にとどまった。
- 富士山測候所送電線の小山町への分電は 7/10 から使用開始となり、すでに実施している環境省公衆トイレと合わせ公益的役割を果たすこととなった。なお、保全に係る費用分担等については覚書を締結し維持経費の負担軽減をはかった。

(2)科学的学術的事業

- 公募による応募・審査を経て採択された 14 件（研究計画 10 件、活用計画 4 件）の公募応募案件にプラスして 4/1 から実施したトライアル利用公募により 4 件が追加となり、いずれも円滑に実施された。

(3)出版情報発信等広報事業

- ホームページはタブレット端末普及対応とコンテンツの増強を 8/10 英語 HP, 10/1 日本語 HP をそれぞれリニューアル実施した。
- NPO 紹介資料として 8/10 英語版, 3/18 日本語版パンフレットをそれぞれ制作しイベント等で配付利用している。
- NHK ラジオ第 2 放送カルチャーラジオ『科学と研究』で「水と大気の科学—富士山頂の観測から」と題して 4 月-6 月の 3 ヶ月間全 13 回放送した（土器屋理事）。

(4)環境教育事業

- 「理科準備室へようこそ」（立教新座中高・古田教諭）に対してサポートした。
- 8/2 富士山学校科学講座を山頂で開催・横浜市立大学学生 22 名が参加した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	当該事業の (A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位千円)
(1) 総合的運用事業	ア. 安全管理・登山サポート (1)「登山計画書」をもとにし「安全マニュアル」を厳密に運用し延べ利用者 434 名の安全な登山をサポートした。	(A)7/1～8/29 (B)東京事務所 (C)4名	(D)研究者等 (E)延 434 名	18,395
	(2) 御殿場基地事務所を交通利便性の高い御殿場市荻原に開設し、閉所までの間、研究者の安全かつ円滑な登山支援を行った。また、山頂・御殿場・東京事務所間ではグループウェアにより情報を共有し、オペレーションの円滑化とはかった。	(A)6月中旬～9月初旬 (B)富士山頂(富士山測候所)、御殿場基地(御殿場市)、東京事務所(東京都) (C)延 50 名	(D)一般研究者・学生及び会員等 (E)500 名	
	(3)「自衛隊立入り許可証」(陸上自衛隊)、富士宮口、須走口の「マイカー規制確認証」(小山町、富士宮市)を申請し研究活動を支援した。	(A)7/1～8/29 (B)御殿場基地(御殿場市)、東京事務所(東京都) (C)4名	(D)一般研究者・学生及び会員等 (E)30 名	
	イ. インフラ(建屋・電源等)整備 <整備> (1)ブル道 砂入れ補修につき、次年度以降に向け登山道を管理する環境省に働きかけ、修復費用負担などの協力を要請した。 (2)建物 山頂班の協力を得て、2号庁舎と3号庁舎を繋ぐ渡り廊下の両端(2号庁舎との接合部、3号庁舎との接合部)について、劣化したコーキング材の除去と新たなコーキング材の充填を実施した(8/7) (3)電気 小山町電化対応の送電線分岐工事は計画通り実施され小山町方面への分電を使用開始した。(7/10) 山頂付近で地中埋設ケーブルが損傷する事故が発生し、補修工事を実施した。(7/29-8/21) (4)通信 山麓太郎坊の通信環境改善のため土地を借用している古澤共和会に対し正式に要望を伝えた。 <現状変更> 屋外設置機材による観測等を行なうグループに対しては「現状変更申請」を提出させ、気象庁、環境省、文化庁(静岡県教育委員会)の事前許可手続きを行った。	(A)7/1～8/29 (B)富士山頂(富士山測候所) (C)延 10 名	(D)一般研究者・学生及び会員等 (E)延 434 名	

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	当該事業の (A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
(2)科学的・学術的事業	<p>ア. 観測研究の実施 (1)山頂は例年にない積雪量であったが山頂班の除雪作業等により、予定通り7/1に開所し8/29まで60日間の過去最長の山頂利用を実現した。</p> <p>実施事業は以下のとおりである。 <学術科学関係事業> (1)富士山頂における中期二酸化炭素濃度観測/向井人史(国立環境研究所) (2)一酸化炭素およびオゾンの夏季の長期測定/加藤俊吾(首都大学東京) (3)富士山体を利用したエアロゾル-雲-降水相互作用/大河内博(早稲田大) (4)富士山体を利用したエアロゾルの気候影響の研究/三浦和彦(東京理科大) (5)大気中水銀の連続観測と同期する汚染物質の観測/永淵修(滋賀県立大) (6)宇宙線被ばく線量評価の信頼性向上を目的とした富士山頂での放射線モニタリング/矢島千秋(放射線医学総合研究所) (7)富士山頂における大気電気現象および超高層大気/鴨川仁(東京学芸大) (8)富士山永久凍土研究/池田敦(筑波大) (9)富士山頂において歩行バランスに与える研究/井手里香(都立大塚病院) (10)夜間睡眠の状態が急性高山病に及ぼす影響/堀内雅弘(山梨県環境研)</p> <p><活用関係事業> (11)「理科準備室へようこそ」～富士山頂での教材開発Ⅲ/古田豊(立教新座中学・高等学校) (12)旧測候所を利用した通信の可能性について/吉田智将(KDDI株) (13)高所訓練及び富士山学校科学講座「日本一高い場所での高山病の話」/浅野勝己(筑波大名誉教授)</p> <p><トライアル利用> (1)富士山頂の極地高所環境を活用した模擬衛星Fuji-Satプロジェクト/川本直樹(創価大学) (2)富士山の形成過程/藤本光一郎(学芸大) (3)富士山山頂域におけるコケ類の繁殖様式/伊村智(国立極地研究所) (4)イオン液体の電気化学/西直哉(京都大学)</p>	(A)7/1～8/26 (一部通年観測) (B)富士山頂 (富士山測候所) (C)延20名	(D)研究者・学生等(会員) (E)延434名	7,403
	<p>イ. 第8回成果報告会の実施 日本郵便、三井物産、栗井環境財団の後援を得て、これまで最多の41報(口頭発表11、ポスター発表30)の発表があり成果を共有しあった。</p>	(A)3/22 (B)東京大学弥生講堂(文京区) (C)50名	(D)不特定多数/会員 (E)115名	
	<p>ウ. 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門(MARD)第4回成果報告会後援 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門主催の2014年度の成果報告会を後援した。</p>	(A)3/21 (B)東京理科大学(東京都新宿区) (C)30名	(D)研究者/学生 (E)70名	
	<p>エ. 2015年度公募の実施 公募受付締め切りを2/20まで延長し審査の結果、研究件、活用件が採択された。なお、引き続き4/1よりトライアル利用の追加募集を予定。</p>	(A)12/1-1/31 (B)HPで公募 (C)10名	(D)不特定多数 (E)—	

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	当該事業の (A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
(3) 出版情報発信等広報事業	ア. 出版情報発信の強化 <HP,FB> (1) HP は日本語サイト、英語サイトともリニューアルしタブレット端末の普及に対応した表示の改善の他コンテンツの拡充等をはかった。 (2) FB は静岡発の定期的な情報を週1件以上発信中。(1/11)	(A) 通年 (B) 東京事務所 (C) 4名	(D) 一般不特定者及び会員 (E) ー	481
	(3) 会報 Vol.9 は 1,500 部を制作、会員はじめ関係者に配付し広報 (12/18 納品)	(A) 1月 (B) 東京事務所 (C) 4名	(D) 一般不特定者及び会員 (E) 1500名	
	<パンフレット等の制作> (4) 和文 A3 判四つ折りパンフレット 3,000 部を制作、各種イベントでも配付 (3/19)。 (5) 英文 A3 判二つ折りパンフレットを 1,000 部制作し米国で開催された学会等で関係者に配付して広報。(8/10 納品) (6) 東京新聞夕刊コラム連載「富士山の自由な風」を再編集印刷し広報用として関係者に配付。(12/1 納品)	(A) 未定 (B) 東京事務所 (C) 4名	(D) 一般不特定者及び会員 (E) 1,000名	
	(4) 第8回成果報告会と連動して専用サイトを立ち上げ、チラシ・ポスター、講演予稿集の制作を行った。	(A) 12月 (B) 東京事務所 (C) 4名	(D) 一般不特定者及び会員 (E) ー	
	イ. 講師派遣 (1) 2014/4/4-6/28 水と大気科学—富士山頂の観測から、講師:土器屋由紀子(NPO 富士山測候所を活用する会・理事) ※ NHK ラジオ第2 放送カルチャーラジオ『科学と人間』(毎週金曜日全13回放送)	(A) 未定 (B) 未定 (C) 1名	(D) 一般不特定者 (E) ー (NHK ラジオ視聴者)	
	(2) 2014/07/05 富士山の魅力—登ったり、眺めたり、講師:土器屋由紀子(富士山測候所を活用する会・理事),東京新聞フォーラム@江戸東京博物館(墨田区)	(A) 未定 (B) 未定 (C) 1名	(D) 一般不特定者 (E) 500人	
	(3) 2014/11/12 世界遺産・富士山頂で地球大気環境を調べる—揮発性有機化合物と粒子状多環芳香族炭化水素を中心に講師:大河内博(早稲田大学教授) ※ For the Better Forum 2014@虎ノ門ヒルズフォーラム(港区)	(A) 未定 (B) 未定 (C) 1名	(D) 一般不特定者 (E) 200人	
(4) 環境教育事業	横浜市立大学生等 22 名が参加して山頂で実施 (8/2)	(A) 7月~8月 (B) 富士山頂 (C) 4名	(D) 横浜市立大学生 (E) 22人	0

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	当該事業の (A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
該当なし				

決算報告書

第10期

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会

東京都千代田区麴町一丁目6番9号

DIK 麴町ビル901

書式第13号(法第28条関係)			
平成26年度 活動計算書			
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで			
特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会			
(単位:円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	1,445,000		
賛助会員受取会費	583,500		
学生会員受取会費	70,000	2,098,500	
2 受取寄附金			
受取寄附金	2,094,110		
施設等受入評価益	0	2,094,110	
3 受取助成金等			
受取補助金	0		
助成金	12,050,000	12,050,000	
4 事業収益			
自主事業収益	15,068,844		
科学学術的収益	4,541,463	19,610,307	
5 その他収益			
受取利息	1,773		
その他	54,430	56,203	
経常収益計			35,909,120
II 経常費用			
1 事業費			
(1)総合運用事業	18,395,061		
(2)科学的・学術的事業	7,403,128		
(3)環境教育事業	0		
(4)人的ネットワーク事業	0		
(5)国際及び国内シンポジウム等開催事業	0		
(6)出版、情報発信等広報事業	481,304		
事業費計		26,279,493	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	2,160,000		
通勤費	555,620		
法定福利費	368,226		
雑給与	2,842,000		
人件費計	5,925,846		
(2)その他経費			
消耗品費	402,836		
水道光熱費	76,868		
通信運搬費	328,377		
会議費	62,583		
地代家賃	1,661,125		
旅費交通費	240,528		
減価償却費	28,764		
租税公課	238,368		
保険料	25,000		
雑費	163,885		
その他経費計	3,228,334		
管理費計		9,154,180	
経常費用計			35,433,673
当期経常増減額			475,447
III 経常外収益			
修繕積立金取崩益		1,300,000	
経常外収益計			1,300,000
IV 経常外費用			
災害対策費		1,674,000	
経常外費用計			1,674,000
税引前当期正味財産増減額			101,447
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			31,447
前期繰越正味財産額			6,234,838
次期繰越正味財産額			6,266,285

書式第15号(法第28条関係)

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	5,817,664	
未収金	0	
その他流動資産	186,300	
流動資産合計		6,003,964
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
構築物	4,200,000	
機械及び装置	1,895,000	
什器備品	2,541,165	
減価償却累計額	-3,093,894	
有形固定資産計		5,542,271
(2)無形固定資産		
-	0	
無形固定資産計		0
(3)投資その他の資産		
保証金	160,000	
敷金	230,000	
投資その他の資産計		390,000
固定資産合計		5,932,271
資産合計		11,936,235
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	5,382,000	
預り金	11,150	
未払い消費税	206,800	
納税充当金	70,000	
流動負債合計		5,669,950
2 固定負債		
修繕積立金	0	
固定負債合計		0
負債合計		5,669,950
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		6,234,838
当期正味財産増減額		31,447
正味財産合計		6,266,285
負債及び正味財産合計		11,936,235

書式第17号(法第28条関係)			
平成 26年度 財産目録			
平成 27年 3月 31日現在			
特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会			
(単位:円)			
科	目	金	額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
	小口現金	99,340	
	普通預金		
	みずほ銀行 麹町支店	1,380,492	
	郵貯銀行	39,186	
	三菱UFJ 銀行	52,266	
	郵貯/受払銀行	246,380	
	定期預金	4,000,000	5,817,664
未収金			
	事業未収金	0	
	会費未収金	0	0
その他流動資産			
	前払い費用	130,300	
	立替金	56,000	186,300
流動資産合計			6,003,964
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
	構築物	4,200,000	
	機械及び装置	1,895,000	
	什器備品	2,541,165	
	減価償却累計額	△ 3,093,894	
	有形固定資産計		5,542,271
(2)無形固定資産			
	-	0	
	無形固定資産計		0
(3)投資その他の資産計			
	保証金	160,000	
	敷金	230,000	
	投資その他の資産計		390,000
固定資産合計			5,932,271
資産合計			11,936,235
II 負債の部			
1 流動負債			
	前受金	5,382,000	
	預り金	11,150	
	未払消費税	206,800	
	納税充当金	70,000	
流動負債合計			5,669,950
2 固定負債			
	修繕積立金	0	
固定負債合計			0
負債合計			5,669,950
正味財産			6,266,285

書式第16号 (法第28条関係)							
平成 26 年度 計算書類の注記							
特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会							
1. 重要な会計方針							
計算書類の作成は、一般会計基準 によっています。							
(1)	棚卸資産の評価基準及び評価方法 無し						
(2)	固定資産の減価償却の方法 定額法によっています。						
(3)	引当金の計上基準						
	・退職給付引当金 無し						
	・修繕積立金 富士山測候所及び附帯設備の修繕費用を任意にて積立しています。						
(4)	施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 無し						
(6)	消費税等の会計処理 内税方式によっています。						
2. 事業別損益の状況							
(単位：円)							
科目	総合運用 事業	科学的・学術 的 事業	環境教育 事業	出版、情報発 信等の広報	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	2,098,500	2,098,500
2. 受取寄附金	2,094,110				2,094,110		2,094,110
3. 受取助成金等	9,064,147	2,985,853			12,050,000		12,050,000
4. 事業収益	15,068,844	4,541,463			19,610,307		19,610,307
5. その他収益				54,430	54,430	1,773	56,203
経常収益計	26,227,101	7,527,316	0	54,430	33,808,847	2,100,273	35,909,120
II 経常費用							
(1) 委託費・人件費					0		0
労務委託費	6,950,000				6,950,000		6,950,000
外注委託費	6,061,125	7,382,711			13,443,836		13,443,836
人件費	398,000				398,000	5,925,846	6,323,846
諸経費					0		0
委託費計	13,409,125	7,382,711	0	0	20,791,836	5,925,846	26,717,682
(2) その他経費							
通信費	99,876				99,876	327,347	427,223
旅費交通費	787,321				787,321	240,528	1,027,849
水道光熱費	1,991,314				1,991,314	76,868	2,068,182
施設等評価費用	732,575				732,575	1,661,125	2,393,700
減価償却費	440,807				440,807	21,600	462,407
印刷製本費					0	8,637	8,637
その他諸経費	934,043	20,417		481,304	1,435,764	892,229	2,327,993
その他経費計	4,985,936	20,417	0	481,304	5,487,657	3,228,334	8,715,991
経常費用計	18,395,061	7,403,128	0	481,304	26,279,493	9,154,180	35,433,673
当期経常増減額	7,832,040	124,188	0	-426,874	7,529,354	-7,053,907	475,447
3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳							
(単位：円)							
内容	金額	算定方法					
無し							

第1号議案

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の負債額は5,669,950円ですが、のうち前受金5,300,000円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は6,266,285円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
三井物産助成金	6,000,000	5,830,000	6,330,000	5,300,000	前受金として繰り越し処理をしている
合計	6,000,000	5,830,000	6,330,000	5,300,000	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
構築物	4,200,000			4,200,000	771,120	3,428,880
機械装置	1,895,000			1,895,000	445,564	1,449,436
事業用什器備品	1,761,165			1,761,165	1,175,210	585,955
管理用什器備品	780,000			780,000	702,000	78,000
.....						
無形固定資産				0	0	0
.....						
投資その他の資産						
保証金	160,000			160,000		160,000
敷金	230,000			230,000		230,000
合計	9,026,165	0	0	9,026,165	3,093,894	5,932,271

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
無し				
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	2,094,410	1,020,000
活動計算書計	2,094,410	1,020,000
(貸借対照表)		
無し		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法

無し

- ・ その他の事業に係る資産の状況

無し

(参考資料)				
平成26年度 予算対比収支計算書				
(平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで)				
特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会				
(単位：円)				
科 目	26年度予算額 (a)	決算額(b)	差異額(b)-(a)	備考
I 経常収益				
1 入会金・会費収入	2,100,000	2,098,500	-1,500	
正会員会費収入	1,500,000	1,445,000	-55,000	
賛助会員会費収入	600,000	583,500	-16,500	
学生会員会費収入		70,000	70,000	
2 受取寄附金	1,200,000	2,094,110	894,110	
受取寄附金	1,200,000	2,094,110	894,110	
3 受取助成金等	12,330,000	12,050,000	-280,000	
補助金			0	
助成金	12,330,000	12,050,000	-280,000	
4 事業収益	18,562,800	19,610,307	1,047,507	
自主事業収益	13,635,920	15,068,844	1,432,924	
科学学術事業収益	4,926,880	4,541,463	-385,417	
5 その他収益	0	56,203	56,203	
受取利息	0	1,773	1,773	
その他	0	54,430	54,430	
経常収益計	34,192,800	35,909,120	1,716,320	
II 経常費用				
1 事業費	25,217,670	26,279,493	1,061,823	
科学的・学術の事業費	6,487,848	7,403,128	915,280	
総合的運用事業費	18,179,822	18,395,061	215,239	
環境教育事業費	50,000	0	-50,000	
広報活動事業費	500,000	481,304	-18,696	
2 管理費	8,809,000	9,154,180	345,180	
事務局人件費	5,739,000	5,925,846	186,846	
会議費	70,000	62,583	-7,417	
事務局運営費	3,000,000	3,165,751	165,751	
経常支出合計	34,026,670	35,433,673	1,407,003	
当期経常収支差額	166,130	475,447	309,317	
III 経常外収益	0	1,300,000	1,300,000	
修繕積立金取崩益	0	1,300,000	1,300,000	
IV 経常外費用	0	1,674,000	1,674,000	
災害対策費	0	1,674,000	1,674,000	
税引前当期正味財産増減額	166,130	101,447	-64,683	
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0	
当期正味財産増減額	96,130	31,447	-64,683	
前期繰越正味財産額	6,234,838	6,234,838	0	
次期繰越正味財産額	6,330,968	6,266,285	-64,683	

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人
富士山測候所を活用する会

理事長 畠山 史郎 殿

定款第15条第5項の規定に基づき、第10期事業年度の計算書類とその付属明細書の監査、並びに理事の業務執行状況について監査した結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事会に出席し、会計帳簿その他会計に関する重要な文書を読覧すると共に、理事等から職務の業務執行状況等の報告を受け、また、随時説明を求めてきました。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、貸借対照表、活動計算書は、法人の財産及び収支の状況の全ての重要な点において適正に表示している。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく表示している。
- (3) 従来、理事会・総会における招集及び委任行為を、書面以外にFAX又はメールを活用していたが、今般定款を変更し正規な手続きに基づくものに修正したことを確認した。

平成27年5月8日

特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会

監 事 亀甲 邦敏 印

監 事 佐藤 政博 印